

PartⅣ 宅地地盤・のり面調査票



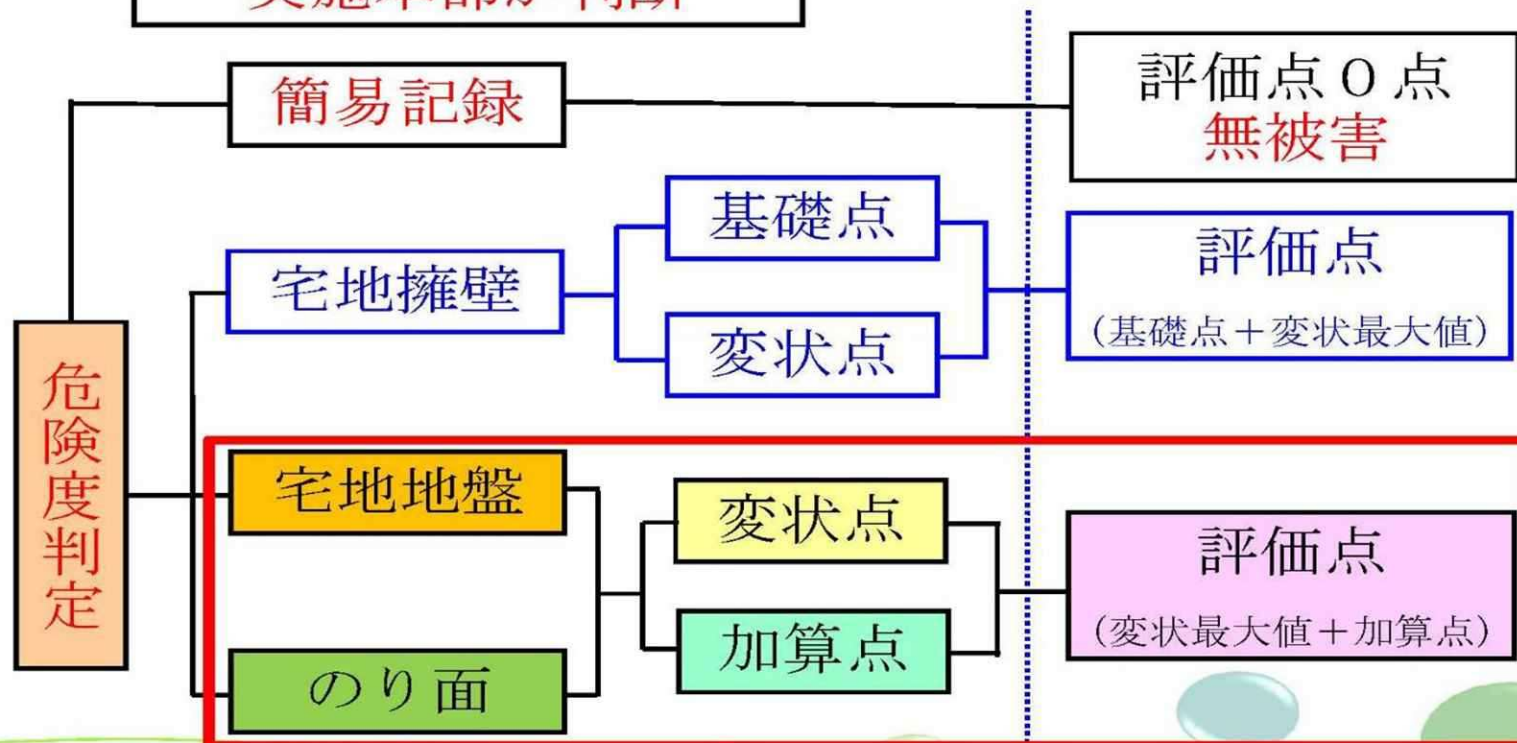
H16新潟県中越地震の被害

3. 1 危険度判定の実施

判定マ－１３

簡易記録の採否は
実施本部が判断

危険度を判定



宅地地盤の危険度評価

(1)宅地地盤の調査・判定の手順

判定マ－４０

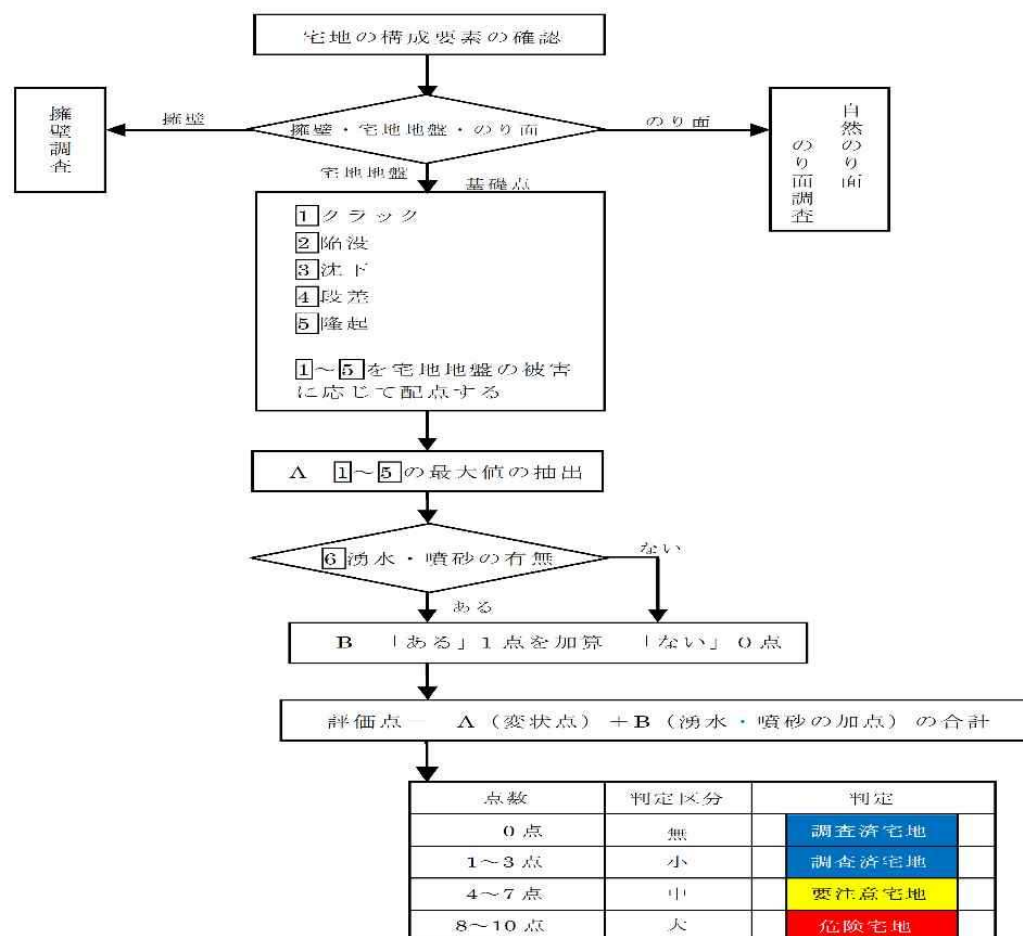


図3-6 宅地地盤の危険度判定のフロー

(3) 変状項目

1) 宅地地盤のクラック

判定マ－43

変状の程度「大・中・小」の概要説明と配点							
項目		小		中		大	
クラック	クラック(幅)	3cm未満	1	3～15cm未満又は複数	3	15cm以上又は全面	5
						 	



(3) 変状項目

3)宅地地盤の沈下

判定マ－45

変状の程度「大・中・小」の概要説明と配点							
項目		小		中		大	
宅地沈下	沈下 (沈下量)	10cm未満	2	10～25cm未満	4	25cm以上	7
							





変状の程度「大・中・小」の概要説明と配点							
項目		小		中		大	
宅地隆起	隆起(隆起量・規模)	20cm未満	7	20～50cm未満	8	50cm以上	9
							



(3) 変状項目

6) 宅地地盤の湧水・噴砂

判定マ－48

変状の程度「大・中・小」の概要説明と配点

湧水・噴砂があるところの「最大値」の点数に「1点」加える

湧
水
・
噴
砂



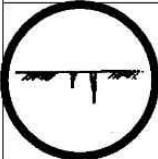
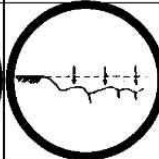
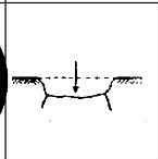
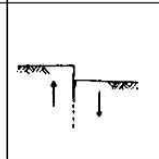
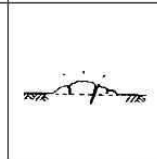
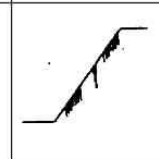
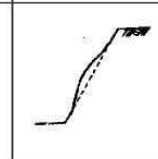
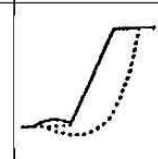
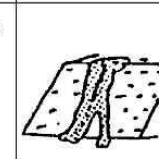
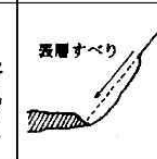
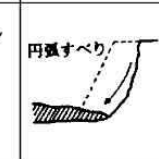
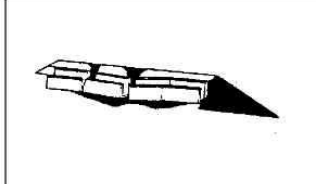
(a) 液状化の被害



(b) 地震により湧水が出た箇所

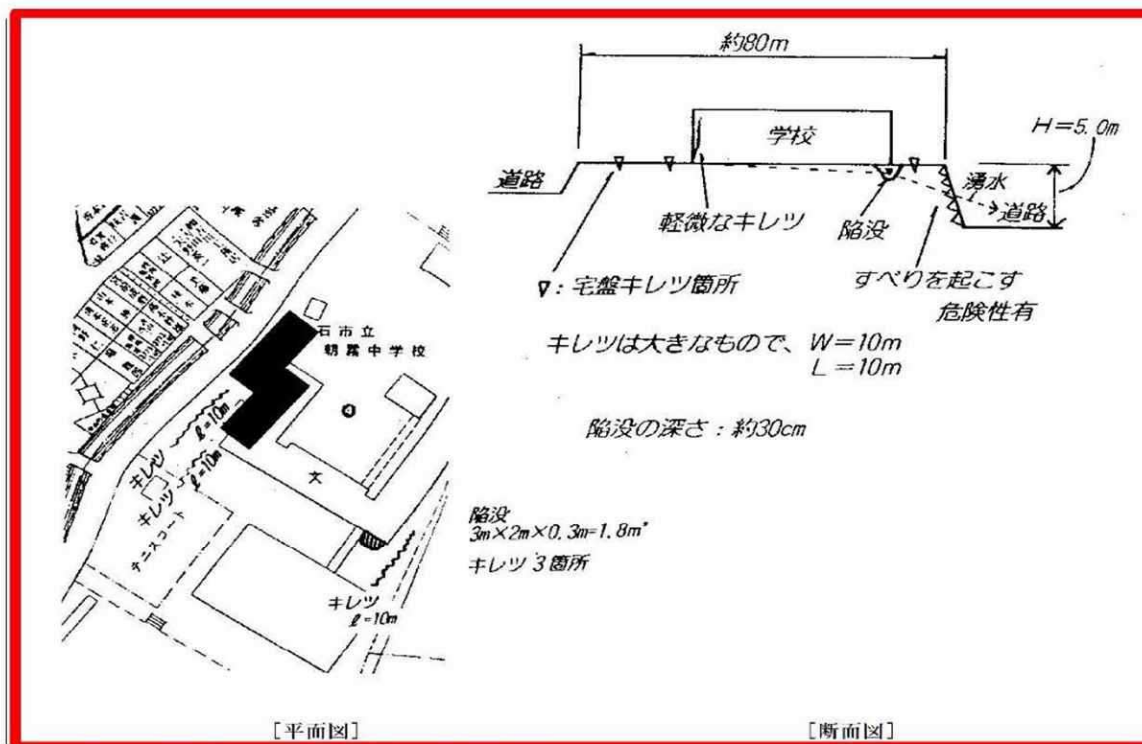
被災状況図の記入例

手引き-26

<被災状況図>					応急措置					
宅地地盤					のり面・自然斜面					
1. クラック	2. 陥没	3. 沈下	4. 段差	5. 隆起	1. クラック	2-1. ハラミ	2-2. 盤ぶくれ	3. ガリ浸食	4-1. 滑落	4-2. 崩壊
										
5. のり面保護工変状		6. 排水施設の変状								
										

被災状況図の記入

手引き-26

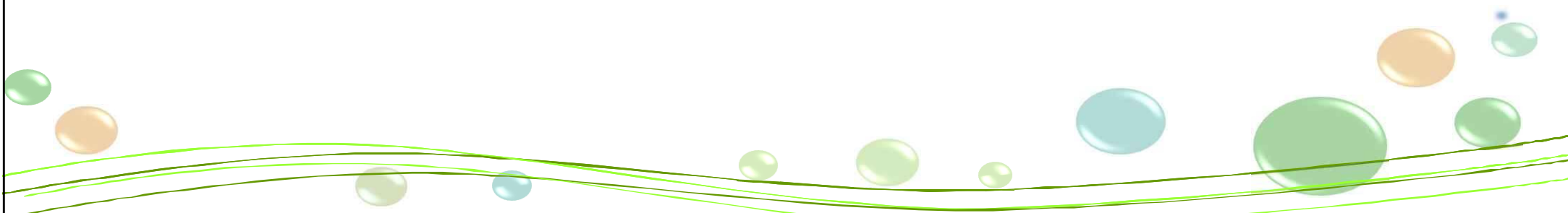


被災写真の有無	☐ 無 ☒ 有 写真番号 [B-2 ①~⑧]
特記事項	キレツや陥没の被害自体は大きいが居住者のいない学校なので、避難するほど危険ではない。

宅地地盤の変状形態と変状点

手引き-27

変状形態と配点表						
宅 地 地 盤	変形状態のチェック(複数可)	小		中		大
	1 クラック(幅)	3 cm未満	1	3～15cm 未満又は 複数	3	15cm 以上又は全面
	2 陥没(深さ)	20 cm未満	2	20～50 cm未満	4	50 cm以上
	3 沈下(沈下量)	10 cm未満	2	10～25 cm未満	4	25 cm以上
	4 段差(段差量)	20 cm未満	3	20～50 cm未満	5	50 cm以上
	5 隆起(隆起量)	20 cm未満	7	20～50 cm未満	8	50 cm以上
	6 湧水、噴砂	□無 ☒ 有→+1 点(上の点数に1点加える)				



(5) 宅地地盤に伴う被害の判定

被害の判定値 ※変状点の最大値に加算点を加えたもの ※無被害の場合は被害点の記載無し		5 点	☆被害程度の点数と危険度判定☆ 無被害： 0 点(防災上問題無し) 小被害： 1～3 点(当面は防災上問題無し) 中被害： 4～7 点(制限付き立入。進行していれば避難) 大被害： 8～10 点(危険、要避難、立入禁止)
危険度判定		☐ 大 ☒ 中 ☐ 小 ☐ 無	
所見記入者の意見 ※無被害の場合は記載無し	緊急度	☐ 大 ☒ 中 ☐ 小	(人命・財産・交通の3点を判断基準とする。)
	拡大の見込	☒ 有 ☐ 無 ☐ 判断不可	(備考：)

手引き-27

点 数	判定 区分	判 定
0	無	防災上の問題はないと考えられる
1～3点	小	変状は見られるが当面は防災上の問題はない
4～7点	中	変状が著しく、当該住宅に立ち入る場合は、時間、人数を制限するなど十分注意する。また、変状が進行していれば避難も必要
8～10点	大	変状等が特に顕著で危険である。避難立入禁止措置が必要

判定マ－50

調査済宅地

調査済宅地

要注意宅地

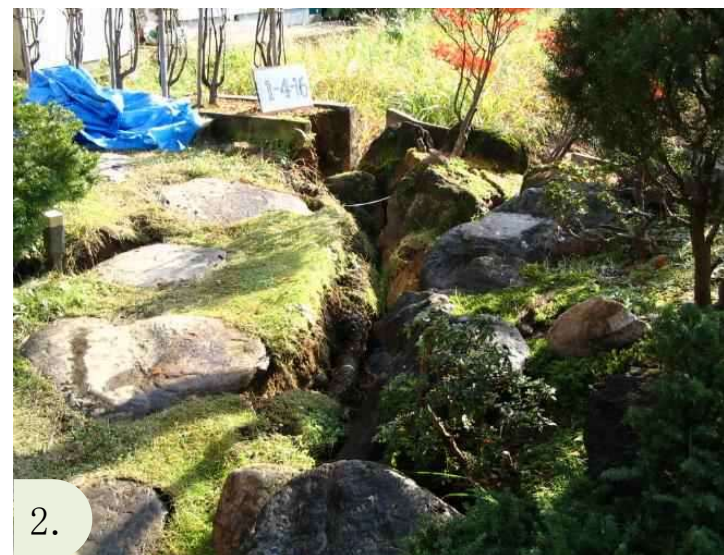
危険宅地

特記事項の記入

手引き-26

	陥没の深さ: 約30cm 陥没 3m×2m×0.3m=1.8m³ キレツ 3箇所
被災写真の有無	☐ 無 ☒ 有 → 写真番号 [B-2 ①~③]
特記事項	キレツや陥没の被害自体は大きいが居住者のいない学校なので、避難するほど危険ではない。

宅地地盤に関する被害



- 1. 地盤の沈下
- 2. 地盤のクラック
- 3. 地盤の陥没

宅地地盤に関する被害



4. 地盤の液状化



5.

5. 地盤の隆起



6.

6. 段差